

別記様式（第7条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月9日（火） 19時00分 ～ 21時00分	
開催場所	三中地区公民館集会室	
出席議員	司会者	小坂 博（総合司会）、柳澤 明（意見交換の司会）
	報告者	平石勝司、井上圭一、勝田達也
	記録者	篠塚昌毅
		<p>総務市民委員会（8名） 篠塚昌毅、今野貴子、久松猛、矢口迪夫、吉田博史、 海老原一郎、平石勝司、島岡宏明</p> <p>文教厚生委員会（7名） 柳澤明、井上圭一、福田一夫、荒井武、鈴木一彦、下村壽郎、 塚原圭二</p> <p>産業建設委員会（8名） 吉田千鶴子、勝田達也、内田卓男、竹内裕、寺内充、矢口清、 柴原伊一郎、小坂博</p>
参加人数	57名	
実施内容	<p>1. 常任委員会で審議した平成29年度主要事業の報告</p> <p>(1) 総務市民委員会</p> <p>①水郷筑波サイクリングロード環境整備事業 ②凶入り土浦ナンバー策定事業 ③一般廃棄物有料化事業</p> <p>(2) 文教厚生委員会</p> <p>①公立保育所民間活力導入事業 ②健康増進事業（胃がんリスク検査） ③認知症施策推進事業</p> <p>(3) 産業建設委員会</p> <p>①土浦ブランドアッププロジェクト推進事業 ②配水場整備事業（右廻配水場） ③都市下水路整備事業 小規模排水路整備事業</p> <p>2. 市民との意見交換</p>	

(意見(提言)の要旨を記載)

Q : 市民からの意見・提言等

A : 議会の回答

1. シティプロモーション事業について

Q シティプロモーション事業について、インターネットで観光・物産、ご当地弁当の作り方などを紹介しており、内容は素晴らしいものだがアクセス数がまだまだ少ないと思う。ネット上にアップしただけで満足するのではなくアクセス数を伸ばすなどの施策が必要と思う。

A シティプロモーション事業については期待をしている。山手線にポスターを掲示したり、都心のビルの大画面でビデオを上映するなどの実施をしている。観光戦略会議等でも情報の発信力が弱いことが指摘されているので、情報発信の強化策としてこの事業が始まったと思う。ご意見のとおり、アクセス数が伸び悩むなどもあるので、ビデオ等を作成しただけで満足することなく、これからどのような戦略を立ててこの事業を推進していくのか、また簡単にインターネットでアクセスできる方法など議会としても検討し提案していく。

主な意見
・提言等

2. 図柄入りナンバーについて

Q 図柄入り土浦ナンバーのデザインについてどのように決定していくのか。決定方法としてデザインを公募制にして市民にも参加してもらえば地域の愛着心の醸成にも繋がると思う。

A 図柄入りナンバーは国の施策でこれから土浦ナンバーのエリア11市町村と検討をしていく予定。27年6月に国土交通省で法律の改定があり、図柄を選べることとなった。公募等については、これから皆様のご意見を伺って検討していく。

3. ごみの有料化について

Q ごみの有料化に向けて手数料がごみの袋30リッターで30円とあるが、販売価格の値段を教えてください。

A 各地域で開催された環境問題懇談会で提案された市民の皆様の意見を踏まえて、委員会で検討・議論していくが、目安として1リットル1円となる。今後は処分代を含めての金額となる。

4. 公共交通機関について

Q 高齢者一人で荒川沖に住んでいる。最近、免許証を返納したため買物に行くのも不自由である。特に、国道6号線を経由して土浦駅まで行くバスが無いとため、大変不便を感じている。キララバスのようなバスを荒川沖から走らせる事はできないか。

A このバスの件は各議員が大きな課題と思っている。現在は乗合タクシーの利用を推進しているが、高齢化社会に向けて交通手段の問題は大変重要な課題である。現在、市でも公共交通の在り方について検討している。キララバスについては、NPO法人が中心市街地活性化を目的に運行しているので延伸するには難しい面がある。公共交通に関する計画の中で、荒川沖駅と神立駅の公共交通機関を起点にした計画も上がってきている。また、買物難民対策として移動販売も実施している地域もあるので、皆様のご意見をしっかり受け止め、どのようにこの課題を解決していくのかを議論し、議会として提案していく。

主な意見
・提言等

5. 認知症カフェについて

Q1 認知症対策の中の認知症カフェの評判が良いので、今後も利用者が増える可能性があると思う。認知症カフェの増設、利用者数の拡大などの認知症対策の拡充を図るべきと考える。

A1 認知症の増加は予想されている。認知症の対応としては、症状の正しい理解と接し方が必要で、家族やその周辺の方々に認知症サポーター養成講座などを受講する機会を増やすことが重要であると思う。そのため、ご提案の認知症カフェの増設はよい提案だと思うので、各中学校地区に設置できるように提案していく。

Q2 認知症カフェが設置されたのは良い事だと思うが、社会福祉協議会でも各地域で「ふれあいサロン」を設置し、地域の有志の皆さんが殆どボランティアで運営しており、元気な方を含めみんなに来てもらっている。新規の事業も良いが、認知症の方だけではなく、幅広い年齢層が集まるようにした方が認知症対策になるのではと思う。

A2 認知症カフェは現在開催場所も回数も少ないので今後増設を検討すべきと考えている。その際に社会福祉協議会で開催しているふれあいサロンの実績などを踏まえて、委員会の中でも議論し今後の方向性を定めるなど検討していく。

6. シルバーリハビリ体操について

Q 一般介護予防事業で実施しているシルバーリハビリ体操について伺う。周辺の市ではシルバーリハビリ体操が介護予防費の低減に非常に役に立っている。大きく貢献していると評価しているが、土浦市では評価が低いと思う。

A シルバーリハビリ体操の重要性は各議員もよく認識している。また、高齢者クラブの運動会や各地区公民館の市民委員会福祉部の活動等、各議員もこの活動を十分認識しており、いただいた意見を参考に土浦市に対して提言をし、介護予防費の軽減に向けた活動を行っていく。

7. 市民ギャラリーについて

Q 県の近代美術館が改装工事を行うことに伴い、市民ギャラリーなどを使いながら移動美術館を開催するとの案内がきた。新図書館にできる市民ギャラリーでも見れるように県と連携をしてほしい。

主な意見
・提言等

A 本年11月にオープンする市民ギャラリーのオープニングイベントとして県の近代美術館の移動美術館も行い、県と市を合わせて約100点の展示品が並ぶ予定。今後も継続して県の作品を展示できるように要望していく。

8. 土浦ブランドアップ推進事業について

Q 土浦ブランドアップ推進事業の中で、安全な食料を供給する農林水産業の振興とある。安全で安心な食料の供給は大変重要だと思うのでもう少し詳しく話を聞きたい。

A 食料品の商品魅力を高めるために、安全安心は大変重要なテーマである。具体的にどのような事業を実施していくかは、現在、概要版を策定中のため、本日は示すことができないが、概要ができ次第、市民の皆さんにお知らせする。議会としてもこの事業の推進について注視していく。

9. 議会について

Q1 市議会は行政のチェック機能だけでなく執行部に対して、政策の立案・提言を積極的に行ってほしい。

A1 議会の活動は、皆さんのお手元に届いている議会だより等で、簡単ではあるが一般質問の内容などを掲載し紹介している。一般質問の中で、

<p>主な意見 ・提言等</p>	<p>予算措置などを含めた様々な提案や対案をだしているが、結果に結びつかないこともある。今回のように皆さんにいただいた意見等を踏まえて皆さんの要望を実現できるように努力していく。</p> <p>Q 2 行政視察は土浦市の問題点を解決するための学びの場として行ってほしい。また、議員活動や視察報告などを市民に分かりやすく開示してほしい。</p> <p>A 2 視察は各自治体に出向き見聞を広め、市の諸問題を解決するための参考とするために実施している。また、市民の皆さんにご理解いただけるように見える形で議会の活動を報告させていただきたいと思っている。議会報告会についても開かれた議会の形の一つなので、今後も皆さんとこのような意見交換を実施していく。</p> <p>Q 3 議会報告会に初めて参加して、議員の方々とお話をする機会を設けていただき素晴らしいと思う。これからもこのような機会を増やしてほしい。特に、地域に特化した機会を増やしていただければ地域の実態に即した施策が提案できると思う。</p> <p>A 3 議会基本条例に基づき議会報告会を開催しているが、議員自ら開催しているので皆さんに満足できる内容になっているか心配である。議会報告会以外でも各議員は市民の皆さんからご要望があれば話し合いの場を設ける用意があると思うので、直接、各議員に声をかけていただければと思う。議会報告会は、現在のところは年に2回、2か所で新年度予算等の報告を兼ねて実施することとなっているのでご理解をいただきたい。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成29年5月22日

土浦市議会議長 矢口 清 殿

土浦市議会議会報告会実施要項第9条第1項の規定により提出します。

土浦市議会広報広聴委員会 委員長 小坂 博